

# 地域ケア推進会議 報告書

---

と き 令和5年7月11日(火)9時～10時30分

ところ 美濃加茂市生涯学習センター203

# 地域ケア推進会議の目的・目標

---

## 【目的】

地域に潜在する地域課題の把握・蓄積から市全体の地域課題をとらえ、政策形成に結び付けることで地域包括ケアシステムのさらなる構築に向けた施策に取り組むことを目的とする。

## 【本日の目標】

- ・地域包括ケアシステムとその構築推進の重要性について理解が深まり、各出席者が所属部署における役割とゴミ出し支援に関する取組の可能性について考えることができる
- ・他の出席者の部署における役割について理解できる
- ・意見交換をとおして、本市の地域性に合うゴミ出し支援制度の方向性をイメージできる



# 会議の概要

---

|     |                                                                                                                                                                    |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時 | 令和 5 年 7 月 1 1 日（火） 9 時～1 0 時 3 0 分                                                                                                                                |
| 場 所 | 美濃加茂市生涯学習センター 2 0 3                                                                                                                                                |
| 参加者 | 伊深町小さな手助け「ちょっとたのむ輪」事務局、ワンコインカフェ「憩」代表<br>みのかも支え愛リング会長、小森産業株式会社取締役事業部長、美濃加茂市社会福祉協議<br>会生活支援コーディネーター、ケアマネ部会会長・副会長、東部・西部長寿支援センター<br>主任ケアマネジャー、市役所まちづくり課・環境課・高齢福祉課（事務局） |
| 内 容 | 「高齢者のゴミ出し支援」について、地域関係者を含めた意見交換を実施し、各部署が把<br>握している課題や取組の可能性等について共有を行った。                                                                                             |

# 結果

---

## 【意見の要旨】

### 1 制度の限界について

既存の地域のボランティアを活用した支援については、高齢化等による担い手の課題や近所だからこそその利用のしにくさなどの課題がある。（地域の互助任せの限界）

### 2 地域の互助の活かし方について

地域によって特色があることをふまえ、地域に合うやり方を残していくことも必要。

### 3 介護予防の視点を持った制度の導入について

「どこまでできてどこからできないのか」を見極め、高齢者の身体機能・残存機能をふまえた制度設計が必要。

# 今後の予定

---

- ①庁外関係部署から、具体的な取組案の提示
- ②①について、庁内関係部署（まちづくり課、環境課、高齢福祉課）において、具体的な取組案を検討
- ③令和5年10月頃、第2回地域ケア推進会議を開催